

北九州市議会議員 大久保むが 市政レポート

かわら版

第五十二号

大久保むが事務所

北九州市八幡西区則松二一九一
 TEL 093-9198016・093-9198017
 FAX 093-9198016・093-9198017
<https://www.mugamuganet/>
 E-mail yahatanishi@mugamuganet



委員長 大久保無我

進む物流拠点化！

物流を取り巻く 様々な課題

Eコマース(電子商取引)の急激な拡大による輸送需要の増大。さらに脱炭素など時代の変化による対応や法改正による労働規制の強化などが重なりトラックドライバー不足が深刻化するなど、北九州市だけでなく、物流を取り巻く状況は日本全体で大きく変わってきています。

そのような中、九州と本州をつなぐ北九州市の地理的優位性が改めて見直されています。

北九州市の優位性とは

このような状況の中で地理的優位性が高まる北九州市は、物流都市



■構想のイメージ図

拠点構想を策定し、物流を取り巻く諸課題に対応した西日本エリアの物流と集配送拠点としての集積を図ることを目指しています。

北九州市は本州と九州をつなぐ結節点にあり、九州道、東九州道の結節点に当たります。また市内は都市高速道路が張り巡らされており、陸上輸送が充実しています。鉄道貨物は鹿児島本線と日豊本線の中継地であり、九州と本州の全ての貨物列車が北九州貨物ターミナル駅に停車するターミナル拠点でもあります。

さらに内航フェリーは西日本最大級の規模を誇り、6つの航路が関東や関西と直結しています。24時間利用



※機体デザインはイメージです。

ヤマトホールディングスの物流拠点に

可能な北九州空港では国際航空貨物が週4便就航しており、国際貨物は4年連続過去最高を更新しています(平成29年より5年間で4倍増)。このため北九州市は昨年、増大する貨物に対応するため、北九州空港の貨物上屋を増設しました。

これまで述べてきました物流環境の変化を象徴する動きとして、クロネコヤマトのヤマトグループがJAL(日本航空)と共同で、本年1月に羽田空港・成田空港と北九州空港を結ぶ貨物専用機の導入を発表しました。こうした投資により、北九州

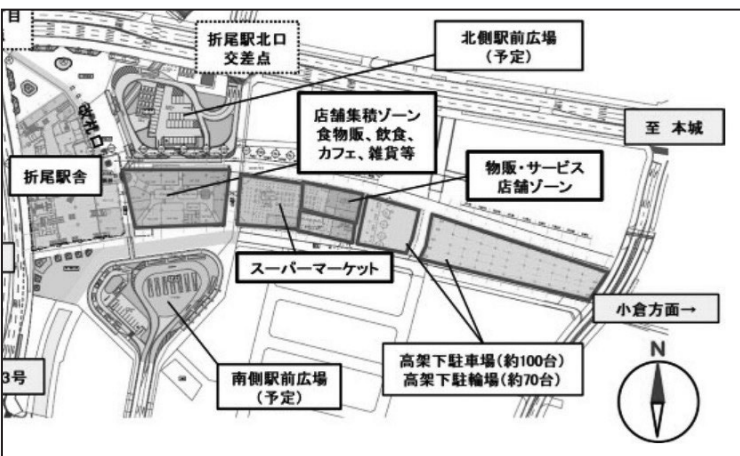
九州各地から北九州市へ、北九州市から関東・関西へ

こうした多種多様な輸送機関を組み合わせ、効率的な物流の仕組みづくりと生産性の向上を図り、さらに物流施設や拠点の集積により新産業の誘致を促すという流れを生み出していくことを目指しています。

いま、北九州市に備わっている潜在的な地理的優位性をもっとも発揮される環境下にあるといえます。この状況を好機と捉え、北九州市の優位性をさらに高めつつ、その優位性を活かした新しい産業の誘致や発展に繋げることを目指していかなばなりません。

折尾駅周辺の線路の高架化と、高架下の活用策について

折尾駅の高架下開発の概要が公表されました。



▲折尾駅高架下

これについて私は平成30年の議会において、折尾駅周辺と駅を利用する市民に対してどのような施設などを求めているのか調査すべきとの提案を行い、同時に八幡西区の議員協議会としても折尾駅の高架下の開発に関するアンケート調査を行うことを申し入れていました。

調査の結果、スーパーマーケットやカフェ、飲食店、コンビニエンスストアなどの回答が多く、折尾駅の高架下がどのような開発になるのか、注目していました。

今回JR九州から市に対して情報提供された資料では、スーパーマーケット、カフェ、飲食店、物販、雑貨などの店舗が予定されていることが明らかになり、ほぼ市民の意向調査の回答に近い内容の店舗で開業するのではないかと期待できます。

令和5年の夏ごろまでにはオープンするのではないかとのことです。

子ども基本条例・子どもの権利条例の制定を目指して取り組みんでいます。

私は現在、会派を中心に「子どもの権利条例」の制定に向けた取り組みを行っています。

子どもの権利条例とは、1989年に国連で採択された子どもの権利条約(正式名称:児童の権利に関する条約)が保障する子どもの権利を、より具体的に分かりやすく定めるとともに、それを保障するための大人の役割や取組について定め、いじめや虐待など、子どもの人権を侵害する状況から子ども達は守られ、自立した社会性のある大人への成長や子どもの視点に立つたまちづくりを行うための基礎となるものです。

北九州市は日本一子育てしやすい



▲子どもの権利条例についての勉強の一環で、子どもの意見を聴いて、子どもの権利を実現するための取組を行う、NPO法人アドボカシーセンター福岡を視察

街と言われているようですが、子どもを虐待から守る条例や子どもの権利条例と言った部分では先進的な都市に比べてまだまだ遅れている部分も多々あります。子どもを虐待から守る条例は平成31年市議会が主導し、私もプロジェクトチームに加わり、全会一致で制定されました。

この条例により子どもの虐待については、議会での報告が義務付けられ、その取組も議会でも度々注視されることに繋がりました。

いじめや不登校、虐待のみならず、子どもの人権を守る仕組みづくりと受け皿づくりはこれから益々必要性を増してくると考えられます。子ども達一人一人の人権を守るための条例づくりを通して、プレイパークの設置や総合的に子ども達の見守りと相談ができる環境づくりを進めることで、北九州市の子育て環境を質の面から向上させていくことができると考えています。



▲川崎の子ども夢パーク

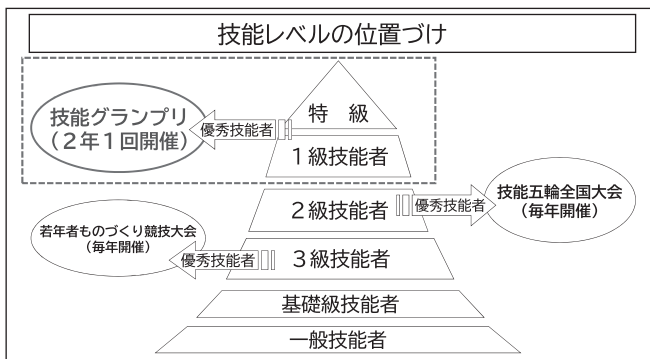
技能グランプリの誘致が実現!

技能グランプリは年齢に関係なく、熟練技能者が技能の日本一を競うことにより、熟練技能者の技能の

一層の向上を図るとともに、その地位の向上と技能尊重気運の醸成に資することを目的とした全国大会です。

私は令和3年3月定例会において、本市においての技術者育成に繋がる技能五輪の誘致をすすめることを議会提案していました。

こうした技術者の技能を競う大会は、年齢制限のない「技能グランプリ」、企業等へ就業していない学生や訓練生が出場する「若年者ものづくり競技大会」、23歳以下の青年技能者が出場する技能五輪全国大会、技能五輪国際大会などがあります。今回、市が誘致した技能グランプリは、技能者の中で最も優秀な熟練技能者がその技を競う大会で、九州ではじめて、北九州市での開催が決定しました。



令和6年2月23日から26日までの4日間に亘り、西日本総合展示場をメイン会場として開催されます。兵庫県で開催された際には3万人の人が来場した実績もあり、日本有数の技術者が北九州市で熱い戦いをすることが期待されます!



▲令和3年3月の議会質問

大久保むが今号の1枚

9月末に「蜂窩織炎」という細菌に感染して足が腫れあがる病気になる、産業医科大学に約10日間程緊急入院しました。

高熱が出てかなりきつい日が続きましたが、ようやく退院することができました。

とはいっても10月末現在、いまだに足の腫れは引いておらず、靴も履けない状況が続いています。免疫力が落ちると身近にある細菌でもこうした感染症を起こしやすくなるようで、普段からよく睡眠をとるなど、免疫力を高めておくことが大事だと言われました。体調を崩した時ほど健康の有り難さを身をもって感じます。皆さまもこれから寒くなりますので、くれぐれもご自愛ください。



今号のなぞかけ

入院とかけまして、ハブとマンガースと説きます。その心は、どちらも点滴(天敵)があります。むがっちです。



北九州市議会議員 大久保むがプロフィール

平成6年福岡県立北筑高等学校卒業。平成10年九州国際大学国際商学部卒業後、平成12年から元衆議院議員・北橋健治氏の秘書に。その後、さらなる政治の勉強をするため、平成18年北九州市立大学・法学研究科に入学、政策科学を学ぶ。勉学のかたわら、参議院議員・大久保勉氏の秘書を平成19年まで務める。平成20年3月、北九州市立大学・法学研究科を卒業。同時にヘルパー2級取得。平成21年北九州市議会議員に初当選、総務財政委員会に所属。2期目前半に環境建設委員長に就任。3期目の前半に教育文化委員会。現在は経済港湾委員長。「国民民主党」「立憲民主党」の合流に参加せず現在は無所属。NPO法人「KID's Work」スタッフ。

大久保むが事務所

〒807-0831 北九州市八幡西区則松2-9-2 Tel 093-980-6806 Fax 093-980-6807
<https://www.mugamuga.net/> E-mail yahatanishi@mugamuga.net

